

東京工科大学

東京工科大学は実学主義のもとで専門知識に加え豊かな教養等を培うほか、ハイレベルな学修に取り組める施設や大学院も設置。研究面では、一例として航空機などに活用される革新的工業用材料の研究開発に従事するなど、国の機関による支援のもとで最先端のテーマに取り組んでいる。

2021年4月にはリハビリテーション学科

言語聴覚学専攻を設置

東京工科大学ではこれまでも多彩な選抜方式を展開しており、2023年度入学者選抜でもこの流れを踏襲していく予定である。

また、同大では時代のニーズに合わせた学びを整えるため積極的な改革を行っており、2021年4月には、リハビリテーション学科言語聴覚学専攻の設置をはじめ、医療保健学部教育・研究体制が進化したことも見逃せない。

以下の入試情報は記事制作時点のもののため、2023年度入試の詳細については、募集要項等で必ず確認のこと。

一般選抜は従来どおりとし、

英語外部試験は活用しない予定

一般選抜のうち「奨学生入試」「A日程」「B日程」の試験そのものは、従来の3教科による選抜で実施し、どの方式であっても、英語外部試験は活用しない予定だ。これらの入試においては統一入試を導入しており、1日の受験で複数学部・学科・専攻を併願することが可能な形態となっている（2022年度入試実績）。

なお、「奨学生入試」では、これまでどおり奨学生合格者として入学した学生には奨学金が支給される（2022年度入試では年額130万円を最長4年間支給）。奨学生合格者に加えて、一般選抜免除合格者が発表される点も特色で、また、前年度の入試から学外会場も設けており、各地で受験しやすい体制を整えている。

大学入学共通テストを

利用した入試も実施

大学入学共通テストを活用した入学者選抜も、一般選抜として前期・後期で実施予定。「国語」の判定は、従来どおり「近代以降の文章」のみが対象となる見込みで、「英語」における英語外部試験の活用は、他の一般選抜の方式同様、予定していない。

上記の続報も含めた各学部・学科・専攻ごとに指定する教科・科目および配点等については、募集要項等で確認すること。

総合型選抜は従来どおり

学力の3要素を総合的に評価

総合型選抜はこれまで同様、学力の3要素を「調査書」、「面接試験」および「基礎学力試験」などをもとに総合的に評価する予定である。「調査書」は合否判定に活用予定。また、「主体性評価」の対象として、「志願理由書」の提出も課す見込みだ。

学校推薦型選抜では

「基礎力調査」も実施

学校推薦型選抜（指定校）は、学力の3要素を「調査書」「推薦書」「面接試験」「基礎力調査」などをもとに評価する見込みである。また、「主体性評価」のための志願者本人記載の「志願理由書」の提出も課す予定となっている。

INFORMATION

オープンキャンパス【来場型】

【八王子キャンパス】

6/12 7/17
SUN SUN
8/7・21
SUN SUN

【蒲田キャンパス】

6/5 7/10
SUN SUN
8/6・20
SAT SAT

オンラインのオープンキャンパスも開催予定です。

※詳細は決定次第、本学HP等でお知らせします。



広報課 課長
山岸 利生

期待する受験生像

東京工科大学では実学主義のもと、専門分野の知識・技術だけでなく、国際的な教養や豊かな人間性、ICT（情報通信技術）リテラシーを育てています。これらを身につけ、社会の変化に柔軟に対応しながら先端分野で力を発揮し続ける“適応力”を獲得し、未来社会で幅広く活躍したい皆さんのチャレンジをお待ちしています。今年のオープンキャンパスでは、来場型のイベント開催やオンラインによるコンテンツ配信はもちろん、別日でキャンパスを見学できる機会も設ける計画です。これらの機会もぜひお役立てください。